Ⅲ 避難誘導時の情報共有と情報提供

1 情報共有ツール

地域内で、現在、以下のようなツールを情報共有に活用することが想定されている。

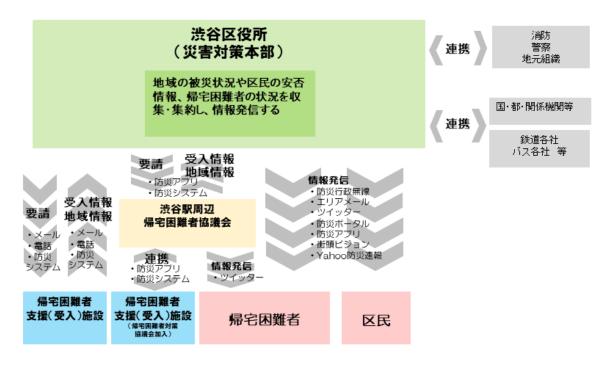


図 安全確保計画に示された情報共有のイメージと主要なツール

1-1. 渋谷駅周辺関係者間の情報共有

○防災システム

・渋谷区が管理し、災害時の情報(被害・避難所等)を共有するための内部システム。

○防災行政無線(移動系)

・災害対策本部(危機管理対策部)と区内の主要な施設(出張所・避難所等)間の非常用通信機器。8局のみで相互通話で3組、交互通話で8組の同時通話が可能。

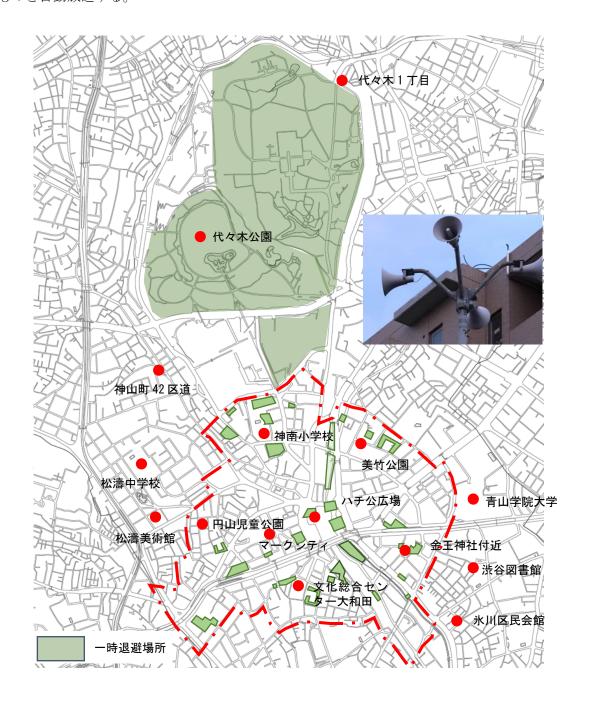
機器設置場所 渋谷駅周辺で 計7か所

明治神宮、代々木公園、代々木体育館、青山学院大学、文化総合センター大和田、神南小学校、商工会館

1-2. 駅周辺の滞留者、帰宅困難者、区民に対する情報提供ツール

○防災行政無線(同報系)

- ・主に区民向けの災害時重要事項の伝達用。
- ・トランペットスピーカーを備えた放送搭。区内84カ所に設置。(非常電源付)
- ・災害発生時には、避難の指示等、区役所からの重要な情報を伝達する。
- ・国の全国瞬時警報システム (J-Alert:ジェイアラート) と連動して、「国民保護関連情報」(弾道ミサイル攻撃、大規模テロなど) や「緊急地震速報(震度 5 弱以上)」などについて、 渋谷区に被害が及ぶ恐れのあるものを自動放送する。



○防災ポータル

- ・防災に関する心構えや知識、災害時にどのような行動をすれば良いのかなどを知らせるための区が運営するポータルサイト。 https://bosai.city.shibuya.tokyo.jp/
- ・災害時情報伝達のメインアイテム。災害時には災害時用のページ(黄色)に切り替わる。行動の指針、避難 情報、避難所及び帰宅困難者支援施設開設状況、鉄道運行状況などの情報を閲覧できる。



○防災アプリ

- ・防災ポータル連携。防災情報等の提供を行うスマホ・タブレット用アプリ
- ・被害報告機能、コミュニティの掲示板機能等を有する。

1. 安否確認

①防災アプリを起動して、「コミュニティ」をタッチします。 ②タイトルの「渋谷駅周辺帰宅困難者対策協議会20200204」をタッチします。 ③渋谷区 菅野さん より安否の確認が来ています。の「安否を回答」にタッチします。 ④メッセージがあれば入力し、異常がなければ「大丈夫」をタッチします。



2. コミュニティ機能による情報共有

- ①話題の入力
 - ここでは、話題が「訓練報告用」一つなのでここをタッチします。
 - ※話題を追加しないで下さい。
- ②訓練報告用に、渋谷区 菅野からの連絡事項があります。 これに対して、報告をしてもらうので、画面下部の「コメントを投稿する」をタッチします。
- ③コメント欄に付近の状況(混雑状況等)を入力して、「コメントを投稿する」をタッチします。



3-1. 帰宅困難者受入施設の開設状況の確認(表)

- ①「避難情報」をタッチします。
- ②「帰宅困難者受入施設一覧」をタッチします。
- ③ 開設中になっている施設に向かってください。

また、帰宅困難者受入施設の開設状況は地図でも確認することができます。(詳細は次ページ参照)

※開設状況は渋谷区防災ポータルでも確認することができます。



3-2. 帰宅困難者受入施設の開設状況の確認(地図)

- ①「防災マップ」をタッチします。
- ②「帰宅困難者受入施設マップ」をタッチします。
- ③開設中になっている施設に向かってください。
 - →開設中の施設は色が変わります。



渋谷駅周辺帰宅困難者対策協議会情報伝達訓練使用○渋谷アロープロジェクトアプリ (AR アプリ)

・一時退避場所の方向と距離を示す機能等を有する。

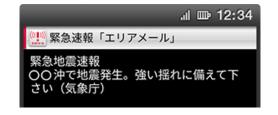


一時退避場所以外にも区役所や出張所等の公共施設方向と距離も確認可能

○緊急速報「エリアメール」

「緊急速報メール」

・渋谷区内にある携帯(ドコモ・au・ソフトバンク)に渋谷区危機 管理対策部より送られる一斉メール。



○渋谷区公式 X (旧:ツイッター)

- ・渋谷区からのイベント、防災、安全対策などの情報発信する渋谷区の公式ツイッター。 @city_shibuya
- ・災害情報、防災情報、気象情報、防犯情報に関しては、危機管理対策部から発信される。



○Yahoo防災情報

- ・Yahooが運営する防災速報「Yahoo防災速報」に渋谷区が発信する地震や台風接近などの緊急災害情報 や避難所の開設状況などを「自治体のからの緊急情報」として提供する。
- ・利用者は現在地連動設定を有効にするか、地域設定を渋谷区にすることで受信可能。





・Yahoo 防災速報の3機能

Yahoo 防災速報には以下の3つの機能がある。

防災情報通知

災害マップ

防災手帳

さまざまな防災情報を迅速にプッシュ通知 早め早めの行動判断をサポートします



ユーザー同士で状況を共有でき どんな災害がどこまで迫っているかがわかります



防災で一番大切な普段の備えから 災害で困ったときに役に立つ情報を幅 広く掲載



• Yahoo 防災速報の災害マップについて

災害マップでは以下の3つの情報提供が可能となっている。このうち「報道メディア・NPO等連携パートナーによる投稿」については帰宅困難者協議会などの担い手の協力(投稿による協力)も可能となっている。



ユーザーによる 状況の共有



ライフラインの 供給情報



報道メディア・NPO等 連携パートナーによる投稿

○屋外用 Wi-Fi スポット

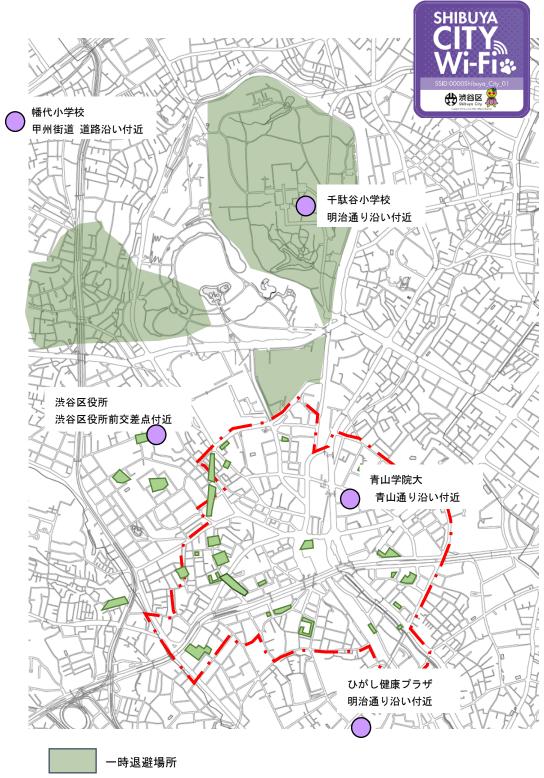
- ・帰宅困難者対策の一環として、区内の主な幹線道路沿いの5カ所に屋外用 Wi-Fi スポットを整備。蓄電池を 搭載しているため、停電時も3日程度稼働する。
- ・屋内用 Wi-Fi スポット -NTT 東日本 光ステーション (屋内用 Wi-Fi) と連携。 SHIBUYA CITY Wi-Fi ステッカーのある渋谷区内店舗約 300 箇所で利用可能。
- ・インターネット接続時間

屋外用アクセスポイント 60分/回 回数制限なし

事業所・店舗

60 分/回 (1 日 4 回まで)

- ・災害時、光ステーションエリアでインターネット に接続すると、自動的に災害ポータルサイトに遷移。
- ・商工会の観光客向けスポットも設置計画があり、災害時利用可能。



屋外 Wi-Fi スポット位置図

・一般社団法人渋谷駅前エリアマネジメントとイッツ・コミュニケーションズが運営する誰でも利用可能な SHUBUYA Wi-Wi-Fi が、利用できる。2018 年 9 月利用開始。





SHIBUYA Wi-Wi-Fi Area

- Areas and Facilities with Wi-Fi Connection Services
- Wi-Fiサービスに接続できるエリアと施設 Wi-Fi 서비스 연결 구역 및 시설
- 可连接Wi-Fi服务的区域与设施 可連接Wi-Fi服務的區域與設施

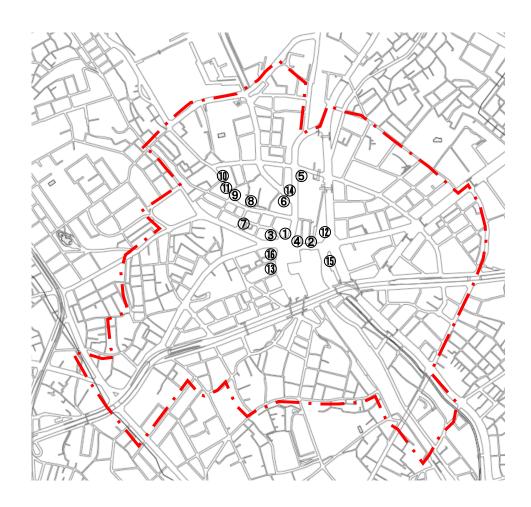


・半蔵門線・副都心線の渋谷駅をはじめ、しぶちかショッピングロード、ハチ公前広場、モヤイ像周辺、東急百貨店本店・東横店、渋谷ストリーム、渋谷ヒカリエ、QFRONT、渋谷マークシティ、渋谷キャストの 11 か所からスタート、渋谷フクラス、渋谷スクランブルスクエア東棟、渋谷駅東口地下広場、セルリアンタワー東急ホテル、北谷公園等が追加され 15 か所に拡大、今後も順次拡大していく。

サービスの利用料は無料。日本語、英語、韓国語、中国語(繁体字・簡体字)に対応している。 大規模災害時は登録不要で利用が可能。渋谷区の防災ポータルと連携する。

○街頭ビジョン

- ・表示内容 数行の文字情報及び画像情報
- ・現状 16 基の街頭ビジョンがあり、協定が結ばれているのは 5 基。
- ・非常用電源の設置予定が1台。その他街頭ビジョン非常用電源の確保が課題。



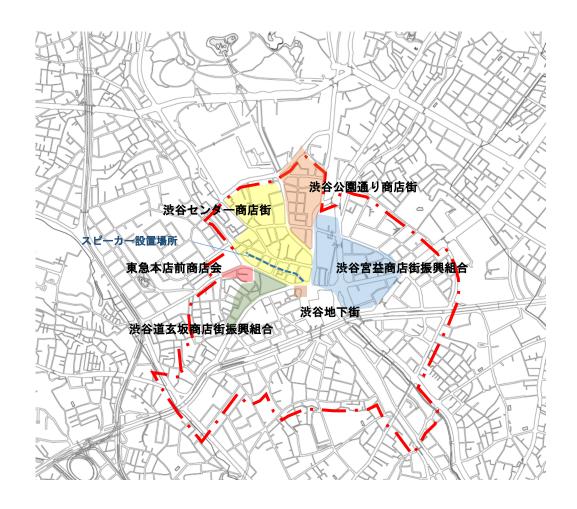
番号	名称	大きさ	管理会社	協定
1	Q's EYE ニュースビジョン	10. 0m × 10. 0m	東急㈱	0
2	109 フォーラムビジョン	6.4m× 8.6m	(株)パス・コミュニケーションズ	0
3	DHC Channel	$6.76m \times 8.84m$	㈱毎日広告社	0
4	グリコビジョン渋谷	$3.8m \times 5.0m$	(株)シブヤテレビジョン	0
(5)	タワーレコードビジョン	2.8m× 3.8m	(株)シブヤテレビジョン	
6	ヒューマックスパビリオンビジョン	2.8m× 3.8m	(株)シブヤテレビジョン	
7	ABC マートビジョン	2.8m× 3.8m	(株)シブヤテレビジョン	
8	シブヤセンタービルビジョン	2.8m× 3.8m	(株)シブヤテレビジョン	
9	KN 渋谷 2 ビジョン	2.6m× 3.6m	(株)シブヤテレビジョン	
10	シグマビルビジョン	1.9m× 2.8m	(株)シブヤテレビジョン	
1	アドアーズビジョン	4.5m× 8.0m	(株)シブヤテレビジョン	
12	渋谷宮益坂 I. G ビジョン	$6.08m \times 4.48m$	(株)シブヤテレビジョン	
13	シブハチヒットビジョン	17. $3m \times 24$. $3m$	(株)ヒット	0
14)	ソニービジョンシブヤ	10.5m×8.6m	(株)シブヤテレビジョン	
15)	渋谷スクランブルスクエア(定型サイズ)	22. 5m × 12. 6m	東急(株)	0
	(非常用電源対応)	$(53.9m \times 3m)$		
16	渋谷駅前ビジョン	16. 0m × 20. 0m	東急(株)	0

○渋谷のラジオ

- ・渋谷にある地域密着型のコミュニティラジオ局。渋谷区全域が放送エリア。
- ・公式アプリを使うと日本全国で受信可能。
- ・災害時にきめ細かい情報を発信できる協力・連携体制を構築するとしている。

○商店会の放送設備

・商店街の BGM 設備とし設置されている放送設備を災害時に利用することについてセンター街の了承を 得ている。詳細は今後。



○アロープロジェクト計画内容(渋谷アロープロジェクトアプリは情報提供ツール参照)

- •「一時退避場所」の位置を来街者に認知してもらうためのアート性あふれるデザインの「矢印サイン」を設
- ・アロープロジェクト実行委員会を組織し、エリア内設置を進めている。
- 設置場所
- ① 渋谷キャスト前



②渋谷区清掃事務所 宇田川分室 ③JR 山手線 宇田川架道橋下





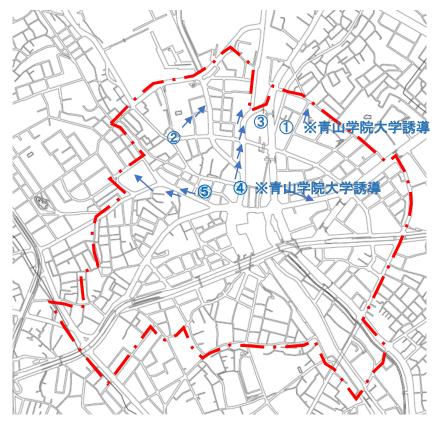
④JR 山手線 渋谷架道橋下





⑤センター街





※以外代々木 公園一帯誘導

2 街頭ビジョンの活用

災害時の情報提供に街頭ビジョンの活用が有効であるので、以下のような方針で活用を図る。

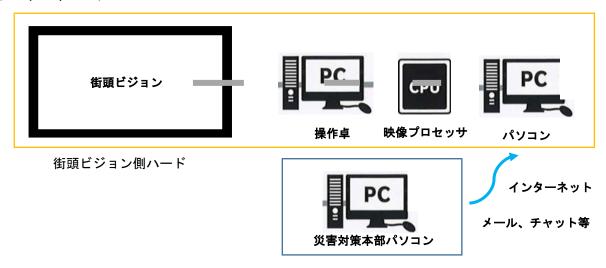
街頭ビジョンの定義

街頭ビジョンとは、建物の外壁等に外向けに取り付けられた大型の映像表示装置で、平時は付近にいる人向けに、広告やプロモーションビデオ、お知らせなどを表示しているもの。

建物内に設置された館内向けの表示装置はこれに含まない。

- ・災害時の情報伝達は、発災直後、発災数時間後、2段階の表示内容を作成する。
- ・災害時、電気が使用可能な場合は、街頭ビジョンに画像を表示し、停電中の場合は、渋谷駅街区東棟の街 頭ビジョンに数行程度の文字情報のみを配信することを基本とする。
- ・多言語の対応は、街頭ビジョンは日英2言語とする。
- ・表示内容の指示は、災害対策本部からインターネット経由でメール、チャットなどを介して行う。
- ・新設のものは停電などの非常時でも数行の文字情報を一定時間提供できる設備を整備する。 (既存のものは非常電源設備の整備を今後の課題とする。)

システムイメージ



- ○街頭ビジョン活用ー文字情報の検討ーと要支援者優先
- ・街頭ビジョンを活用した避難誘導訓練での課題をもとに、文字情報の検討を行い、帰宅困難者の受入に際 して要支援者及び付き添い人の受入を優先することを積極的に周知していく。
- ○街頭ビジョン-文字情報の検討(発災直後3枚、発災数時間後3枚)
- 発災直後
 - ① 注意喚起「落ち着いて行動してください」
 - ② 防災ポータル URL の表示・一時退避場所への誘導喚起
 - ③ 駅混雑・駅より退避する旨の啓発「電車が止まっています」
 - ④ 避難場所「代々木公園一帯」への喚起
 - ⑤「代々木公園一帯」への簡略地図

(1)

地震情報

大きな地震が発生しました 落ち着いて 安全を確保してください

Earthquake

A big earthquake occurred. Stay calm and secure your safety.

2

地震情報

渋谷区防災ポータルへ アクセスしてください

- 渋谷区 防災情報 検索
- 2 https://bosai.city.shibuya.tokyo.jp/ 行政機関等の情報を確認し 冷静に行動してください

Earthquake

Access Shibuya City's Disaster Prevention portal site.

- 1. https://bosai.city.shibuya.tokyo.jp.e.mu.hp.transer.com/
- 2. shibuya city disaster prevention information

Confirm official information, and act calmly.

(3)

地震情報

電車は止まっています 駅周辺は混雑し 大変危険です 近づかないでください

Earthquake

Do not get close to Shibuya station. All train and bus are out of service now.

It is very dangerous around Shibuya Station because of heavy congestion

- ・発災数時間後(概ね4時間後~12時間後)(下記表示例)
 - ① 注意喚起「安全な場所で待機」
 - ② 防災ポータル URL の表示・受入れ施設情報の展開(上記②と同じ)
 - ③ 要支援者受入れ優先ルールの周知

下記表示例(日本語版•英語版)

(1)

待機のお願い

駅や道路に人があふれると、 大変危険です 帰宅しようとせず、 安全な場所で待機してください

Stay safely

Congestion in Shibuya station and nearby roads may cause dangerous situation.

Please do not go back home now. Stay at a safe place.

3

帰宅困難者支援(受入)施設優先利用 お願い

施設利用は、高齢者、

障がい者、妊婦、乳幼児等 を優先してください

Priority for using temporary stay facilities

Please give priority to the elderly, the handicapped, the pregnant, infants and toddlers.

All stranded people are accepted at temporary stay facilities.

・文字情報の英文版を今後作成する。(停電時は文字情報のため地図は無し)

1発災直後

- ①【地震情報】大きな地震が発生しました。
- ②落ち着いて安全を確保してください。
- ③渋谷区防災ポータルへアクセスしてください。
- ④渋谷区 防災情報で検索してください。
- (5)https://bosai.city.shibuya.tokyo.jp/
- ⑥電車、バスは止まっています。(電車は止まっています。)※2種用意
- ⑦駅周辺は混雑し大変危険です。近づかないでください。
- ⑧【避難情報】避難場所は代々木公園一帯です。

2 発災後数時間

- ①【待機のお願い】駅や道路に人があふれると大変危険です。
- ②帰宅しようとせず、安全な場所で待機してください。
- ③【帰宅困難者支援(受入)施設情報】最新情報は渋谷区防災ポータルで確認してください。
- ④渋谷区 防災情報で検索してください。
- 5https://bosai.city.shibuya.tokyo.jp/
- ⑥【帰宅困難者支援(受入)施設優先利用のお願い】施設利用は、高齢者、 障がい者、妊婦、乳幼児等を優先してください。

IV 要支援者の優先ルール

1. 基本認識

渋谷駅周辺で大規模地震等の災害が発生した場合、発生する帰宅困難者の数に対して、帰宅困難者(受入)施設で受け入れられる人数は少ない。帰宅困難者受入施設は、多言語化対応や要支援者及び負傷者等を優先的に受け入れていく様に努める。

<参考> 安全確保計画の記述

4 要配慮者・負傷者の対応

4-1 課題

- ①外国人、障がい者、高齢者、妊婦、乳幼児その他の配慮を必要とする人への支援体制が 確立されていない。
- ② 坂道や歩行者デッキへ接続するための階層移動、幹線道路の横断等、高齢者や車いす利用者 にとって移動する際の負担が大きい。
- ③ 地域内に、応急処置やトリアージするための緊急医療救護所が一か所しかなく、場所、人員が不足する。
- ④ 地域内に大型医療施設がない上に、地域外へ救急車による搬送も期待できないため、重傷者の処置や搬送が困難である。
- ⑤ 地域内の耐震化や室内の家具転倒防止措置が十分でないため、建物の倒壊や家具の下敷きによる、負傷者が発生するおそれがある。

4-2 課題に対する取組方針

- > 行政機関及び事業者は協力し、要配慮者への情報提供と支援を行う
- ① 行政機関及び事業者は、発災時に特別な支援が必要な外国人、障がい者、高齢者、妊婦、乳 幼児等に対する支援体制を検討する。
- ② 行政機関及び事業者は、外国人が理解できる多言語のサイン、ピクトグラム等の導入を図る。
- ③ 渋谷区は、配布用の防災地図や街頭に設置される帰宅困難者支援地図を多言語化する。

負傷者に対する地域内での応急対応と医療施設への搬送方法を確立する

- ④ 行政機関及び事業者は、建物の耐震化、家具の転倒防止措置を図り、発災時に負傷者を出さないように努める。
- ⑤ 行政機関及び事業者は、負傷者の応急対応体制について検討する。
- ⑥ 行政機関及び事業者は、地域周辺の医療施設への搬送手段を検討する。

▶ 帰宅困難者受入施設での優先ルール

7

® 渋谷区は、帰宅困難者の受入に際して要支援者と及び付き添いの人の受入を優先すること を積極的に広報し、ルールに対する社会的コンセンサスを醸成するように努める。

<参考> 渋谷駅ルール(2017 年改定)の記述

個別ルール③要配慮者・負傷者への支援

場所の確保が可能な各事業者は、路上の一時退避者のうち、高齢者、障害者、外国人、妊産婦、 乳幼児等の要配慮者および負傷者に対し、緊急医療救護所への誘導や事業所内での個別対応等 の支援を、積極的に行う。

※優先受け入れの対象者とは要支援者及び付き添いの人

2. 帰宅困難者受入施設での優先ルール

2. 帰宅困難者受入施設での優先ルール

- ・帰宅困難者受入施設での優先受入の対象とするのは、要支援者とし、健常な外国人は優先ルール 適用の対象とはしない。
- ・発災後、滞留者の中に優先受け入れの対象者を見つけた時、優先受け入れの対象者から問い合わせを受けたときは、帰宅困難者として優先的に受け入れられることを伝達する。
- ・優先受け入れの対象者はできるだけ直近の一時退避場所へ案内し、無理に代々木競技場の敷地、 明治神宮等の一時退避場所への誘導は行わない。
- ・集客施設の利用者の中で、優先受け入れの対象者は受入施設開設まで建物内で保護する。
- →集客施設が受入施設の場合はそのまま受け入れる。
- ・優先受け入れの対象者は、帰宅困難者受入施設の開設時間に合わせて、施設まで誘導するように 避難誘導にかかわる関係者が配慮する。
- ・帰宅困難者受入施設では、災害時に要支援者が優先であることの周知に努めるとともに、受け入れに際しては、要支援者である人(障がい者手帳、要介護認定の証明、マタニティマークを所持している人、乳幼児など)を優先的に受け入れる。
- ・帰宅困難者受入施設では、感染症対策及び要支援者等を支援するために、推奨備蓄品等(非接触型体温計、マスク、手指消毒液、ポリエチレン手袋、手洗い用石鹸、ペーパータオル、間仕切り、マット、生理用品、救急セット、粉ミルク、オムツ、ベビーフード等)の備蓄に努める。
- ・感染症対策の観点から一時滞在施設内が過密にならないよう十分な換気に努めるとともに、滞在 者のソーシャルディスタンスの確保や3密を避けるために必要なスペースを確保する様に努める。
- ・帰宅困難者受入施設の施設管理者は、感染防止に必要な滞在スペース確保のため、可能な限り施設内の他の部屋等を活用するなど、一時滞在スペースの拡充を図る様に努める。
- ・受入れ者の中で災害時においてもなお治療の必要な病人、けが人は緊急医療救護施設へ案内する。
- ・ 渋谷区は、帰宅困難者の受入に際して要支援者及び付き添いの人の受入を優先することを積極的 に広報し、ルールに対する社会的コンセンサスを醸成するように努める。
- ・渋谷区は、発災の状況により、交通機関の途絶などで滞留者が多数発生している場合で、高齢者、 車いす利用者など要配慮者に対する情報提供や援助が必要な場合は、公的施設を優先し開設する。

継続課題

- ・感染症対策(一時滞在スペースの屋外利用)
- ・帰宅困難者受入施設の開設スキームの検討(継続協議中)